# 厳選良問
## ～ よく出る内容が凝縮された問題 ～

| 分野 | サービス系分野 | 出典 | ケアマネ試験（第 19 回試験-問題 59） |
|---|---|---|---|

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 問題 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

**問題　成年後見制度について正しいものはどれか。3 つ選べ。**

1　成年後見人が成年被後見人の居住用の不動産を処分する場合には、家庭裁判所の許可が必要である。
2　家庭裁判所は、本人の同意がなくても、四親等内の親族の請求により、補助開始の審判をすることができる。
3　市町村は、後見、保佐及び補助の業務を適正に行うことができる人材の育成を図るために必要な研修を実施するよう努めなければならない。
4　市町村は、後見、保佐及び補助の業務を適正に行うことができる者を家庭裁判所に推薦するよう努めなければならない。
5　任意後見人は、本人からの依頼により、市町村長が任命する。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ポイント＆解答＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

### 資格別試験対策

| 社会福祉士 | 精神保健福祉士 | 介護福祉士 | 介護支援専門員 | 保育士 |
|---|---|---|---|---|
| ★★★ | ★★★ | ★★★ | ★★ | ★ |

注）★★★…必ず学習!!　★★…できれば学習！　★…余裕があれば確認　×…学習しなくて OK

### 試験対策ポイント解説

どの選択肢も、色々な福祉資格試験の問題集に掲載されていそうな内容ですね。成年後見制度を代表する問題内容といっても良いと思います。

特に選択肢 1, 2, 5 の内容は、過去に何度も出題されているので、多くの受験生が選択肢 2 と選択肢 5 が「×」だと判断でき、得点を獲れたと思います。

なお、選択肢 3, 4 は、老人福祉法第 32 条の 2 の「市町村は、後見、保佐、補助の業務を適正に行うことができる人材の育成および活用を図るために必要な措置を講じるように努めなければならない」という規定に基づく、具体的な措置の内容です。覚えておきましょう。

| 解答 | 1, 3, 4 |
|---|---|

編著：福祉試験対策工房